

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームの介護理念を構築する予定にあるが現在はない。年課題や月目標のみでグループホームとしての方向性を示せていない。	理念の重要性が理解でき、職員全員が同じ理念を共有できる。またその理念に対して意識することができ日々前進できる。	理念の研修を実施し、他の職員に理念の重要性を説く。その上でグループホームとしての目指すべきところを皆で考え、理念を構築する。玄関に貼ったり朝礼で読み上げることで徐々に浸透させる。試行錯誤しながら大きな目標に向かって日々取り組む。	3ヶ月
2	4	運営推進会議の規定がない。また会議が報告会になっていることが多い。今後は地域の方や家族ともに話し合いの場として盛り上げていく。	家族様や地域の方が運営推進会議の目的を理解でき会議の内容が充実することができる。	運営推進会議規定を作成する。作成した規定を貼り出したり、必要に応じて家族様や地域の方に配布をする。運営推進会議の中で事業所の困りごとや家族様の困ってることなどを議題にあげ話し合いの場として活用する。	6ヶ月
3	23	個人の記録としてはパソコンなどのツールはあるが生活歴や本人の思いを知るツールとしては共有できる書式がない。	誰が見てもわかるような書式を作成し情報の共有ができる。また常に更新することができ、その人らしい暮らしの把握に努める。	情報の共有できる個人のフェースシートを作成する。家族や他の職員からも情報を集め書き足していき本人の思いや意向の把握に努める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。